



かなざきひさを応援する会 会報 42号 事務局 上山口 1878 番地の 9 Tel&Fax 878-7961 かなざきひさの携帯 090-4076-2425
E-Mail kanazakih@jcom.home.ne.jp URL <http://members2.jcom.home.ne.jp/kanazakih/>

葉山町議会平成 22 年第 4 回定例会が開催されました。

(期日平成 22 年 11 月 30 日～12 月 9 日)

・ダイオキシン類の検出により、焼却炉停止

- ・11 月 25 日、クリーンセンターの放流水から基準値を上回るダイオキシン類が検出され、焼却炉の全面停止という事態になっております。
- ・発覚した 11 月 25 日に、プレス発表をしたにもかかわらず、議会への報告が翌日 9 時過ぎにファクスで行われ、議員の多くは朝刊で初めて知るという状況でした。
- ・その対応を指摘しても、町長は「議会に報告しても事態の変化は何もない」と議会軽視の発言を繰り返すのみでした。
- ・また、定例会初日の 11 月 30 日に町長行政報告が行われ、それに対する緊急質問の答弁においても、町民に対して一言のお詫びの言葉もなく、「ピンチをチャンスに」などと安心・安全な町民生活を預かる町長として、あるまじき答弁を繰り返すのみでした。

・「議案第 53 号 下水道投入施設建設工事請負契約」の取り下げ

- ・11 月 30 日の本会議で提案され、教育民生常任委員会で審査されることになっておりましたが、12 月 9 日の本会議で撤回されることになりました。
- ・その理由として、建設予定地に神奈川県道路公社の土地が含まれており、その賃貸契約が間に合わなかったとのことでした。
- ・本会議での質問で、11 月 24 日、神奈川県道路公社に土地利用について初めて相談に行き、好意的であったから、貸してもらえるとと思っていたとのことでした。
- ・しかし、委員会審査日までに承諾が得られず、議案の撤回となりました。
- ・森町政になってから、たるんでいるとしか言いようのない不祥事が続いております。

・森英二町長に対する問責決議案を提出

- ・ダイオキシン類の検出による焼却炉の停止という状況に伴って、発覚した一連の議会軽視、町民軽視は町長として許されざる言動であり、また、下水道投入施設建設工事契約の取り下げなど、この定例会で立て続けに森町長が舵取り役として不適格と思われる事態が起きました。
- ・かなざきひさが提案者となり、12 月 9 日の本会議で 11 名の賛成を得て成立いたしました。反対者は畑中、近藤、阿部、伊藤友子の各議員でした。森議員は妻であるので除斥、鈴木道子議員は議長ですので、賛否には加わっておりません。
- ・問責決議を提案、成立した以上、今後の町長の行政運営や議会対応、そして、町民への配慮など、厳しく目を光らせ、森町長誕生以来、幾度となく繰り返されてきた陳謝・撤回など、今後は二度と許さない覚悟であります。森町長の真摯な態度を期待します。

・ダイオキシン類基準値オーバーの原因究明と町民の不安を払拭するための対策を求める決議案提出

- ・原因究明を最優先し、健康への被害の有無など早急に調査し、不安を払拭する対策が必要です。
- ・特にクリーンセンターに近い保育園、葉山小・中学校など子どもや大勢の人が出入りする場所は念入りに調査・対応する必要があります。
- ・また、クリーンセンターの職員の健康診断等、可能な限りの対策を講じるよう求めました。
- ・全議員の賛成で成立いたしました。

○ かなざきひさの一般質問

(1) 来年度予算編成に向けての考え方

平成 23 年度の予算を編成する時期であり、かなざきひさの考えを提案するため、質問をいたしました。

質問と提案	理事者側の答弁
財政難ではあるが、歳出削減のみでなく、歳入増の方策を考えるべきではないか。	徴収体制を強化し、滞納処理をする。また、町所有の資産などの有効活用や売却なども考えている。 (町長)
町有地の有効活用について、今年度、真名瀬駐車場の有料化で 1,200 万円の収入を見込んでいる。南郷公園や町役場の駐車場も有料にしていかがか。	南郷公園はスポーツやイベントの参加などの目的での利用であり、公共公益性からの検討が必要である。役場の駐車場については有料化の目的など様々な観点からの検討が必要と思う。 (町長)
南郷公園はドッグランがあり、町外からの利用も多く、駐車料金を取るべきとの意見もある。また、役場駐車場は近くにコインパーキングがなく、役場利用以外に利用したい人々も多く、料金を払って安心して駐車したいという要望もある。	提案として受け止めておく。 (町長)
しおさい公園の来客数が町の活性化につながると思うが。	最高入場者数は 6 万人強であったが、最近では 3 万人弱である。 (教育長)
園内は葉山の良さを味わっていただく素材がたくさんあるが立派なお茶室など、制約が多く、使い勝手が悪いとのことである。せめて、お茶室使用料の予算額をクリアするよう努力して、喜んで使用していただくように改善したらいかがか。	貴重な助言である。検討する。 (教育長)
合併処理浄化槽補助事業の方針は。	今年度と同様、転換のみに補助する。 (生活環境部長)
市町村設置型合併浄化槽は 20 件まとまれば、国の補助が付き、本人負担は 1 割という制度に変わりはしないか。	変わりはない。 (生活環境部長)
来年度は 20 基分の予算を付け、水環境のために合併浄化槽に切り替えようという協力者に対しては 9 割を町負担で行ったらいかがか。PR をして 20 基になれば国の補助がつくのであるから、町として努力すべきだ。	1 割の本人負担も大変と思うが、水環境に寄与できるということをアピールして、どこまでできるかわからないが、検討・研究の道はあると思う。 (町長)
生きがい対策交流事業の減額に不満の声が上がっている。来年度の方針は。	老人いこいの日のおにぎりは復活させる。 (町長)
海水浴場開設期間と町の活性化の関連についての考え方は。	活性化に役立っていることは承知しているが、財政の問題で開設期間を遅らせた。 (町長)
町民との協働で解決策はあると思うが、来年度、開設期間延長の考えは。	3 つある海水浴場一律ではなく、各々の特徴に合わせ、すみ分けを考えていきたい。 (都市経済部長)
子ども会育成連絡協議会への活性化のための支援は。	16 ある子ども会のうち、4 団体しか加入してなく、役員の成り手がいないなどの現実を踏まえ、補助金の交付だけでなく、様々な形で援助をしたい。 (教育長)
葉山ふるさとひろば実施補助金の来年度の考えは。	まだ決定していない。より一層精査する。 (町長)
かなざきひさの考え 財政難ということで何もかも一律カットということではなく、町が元気になるよう予算にメリハリをつけるべきと思います。来年度予算審査はそういう観点からしっかりと見極めます。	

(2) ごみ処理基本計画（案）について

一般質問通告締切りにはまだダイオキシン類の発生が発覚しておりませんでしたので、このような質問項目になりました。

質問と提案	理事者側の答弁
ごみ処理基本計画案は今回の事態を受け、根底から考え直すことになる。基準年も直近のものにすべきと思うが。	25 年度まで、今ある炉を補修しながら続けていくという計画になっているので、見直しは必要と思うが、基準年は変えるつもりはない。 (町長)
安定したごみ処理を継続的に他自治体と連携するための基本計画をなるべく早く策定すべきである。	民間委託よりも自治体との折衝をし、より有利に長期的、安定的に結ぶことが当然と思っているので、基本となるごみ処理基本計画は大事である。 (町長)
すでに広報している 6 回の説明会では何を説明するのか。	このような事態になったので、内容を変更して、現在のごみの現状報告を行う。 (生活環境部長)
かなざきひさの考え 町民の健康被害をも懸念されるような今回の事態にもかかわらず、町長からは一言のお詫びの言葉がありませんでした。説明会に町長みずから出席をし、町民の皆様にはまず謝るべきと厳しく伝えました。また、基本計画における減量目標の基準となる数値に関しては、「葉山町ゼロ・ウェイストへの挑戦」を発表したのが平成 20 年なので、あくまで基準年は 18 年であると町長は答弁しております。しかし、今回のごみ処理基本計画は別物であり、「3 日前の古新聞」ということわざもあるように、基本計画が完成した年度の直近のデータを基準年にすべきです。すでに 21 年度の数値も確定しています。この基準年の見直しについては陳情が提出され、すでに議会も採択しております。民意を町長はどのように考えているのでしょうか。	

